



山小通信



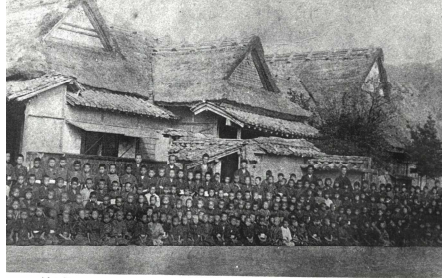
山崎小
ホームページ

創立150周年に思うこと

校長 廣居克彦

歴史と伝統を誇る
山崎小学校は150
周年を迎えました。

明治5年に学制が施行され、いくつかの寺子屋が統合されました。そして、明治9年に本多藩の旧藩邸を借用して「篠陽小学校」を創立したのがはじまりとされています。

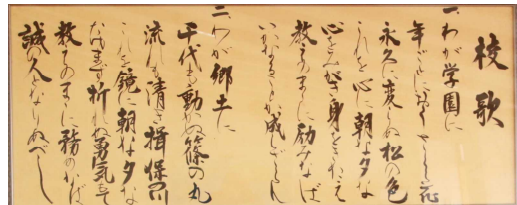


城址につくられた学校は全国的にもめずらしく、どれほど学校教育への期待が高かったのかがうかがえます。また、明治初期といえは、刀を持って生活することが禁止された「廃刀令」や従来のチョンマゲを現代の髪型に改められた「断髪令」が発表された年代で、校長室の前にある初代山本直方校長は、刀を腰にさしてチョンマゲ姿であることから、深い歴史を感じることができます。

また明治42年にできた校歌は、オオカミシブツさんが作詞、御影師範学校の生野さんが作曲され、格式ある校歌となったとあります。今も歌い継がれており、本年度は、運動会やささの子発表会で会場のみなさんといっしょに歌うことができました。子どもたちだけでなく多くの卒業生や地域のみなさんとの歌声は、心がひとつになったように感動をおぼえました。

明治の時代には、山崎町長であった前野

善次郎(道素翁)さんが毎年お正月に子どもたちに伝えたい教訓を詠み込んだ「イロハ訓へ唄」をつくり、木版刷りにして配布されていました。その代表的なものに「ちりをしらべよ 世界の地理を 島ぐに根性はやめにし」というものがあります。山崎から世界で活躍できる人材を育てたいという思いが詰まった詩



で、この詩が心に残り、地理と歴史が何より好きになった卒業生の中には、貿易商社に入り香港やヨーロッパで10数年間の海外生活を過ごして、世界を駆けめぐる仕事をされた方もあります。

本校が創立150周年を迎えるという節目に立ち、改めてその歴史の重みを感じます。150年という年月は、数えきれない先輩方の努力と地域の支えによって築かれてきたものです。山崎小学校の子どもたちが今ここで学べるのは、その積み重ねの上に立っているからにほかなりません。明治から令和に至るまで、社会は大きく変化しました。戦争や震災、経済の浮き沈み、そして技術革新。そうした時代の荒波の中で、本校は教育の場として地域に根ざし、多くの人材を育んできました。校歌や昔から続く学校行事、地域とのつながりなどは時代を超えて受け継がれています。

150周年の児童数は269名で、10

0周年時(昭和50年度)の820名からは激減していますが、本年度は過去を振り返るだけでなく、未来への出発点でもあると考えています。本校の校歌にある「教えのままに勉めなば 誠の人となりぬべし」という歌詞のとおり、子どもたちが学びを深め、夢を描き、世界に羽ばたいていく姿を支えることこそ、山崎小学校の使命であると考えています。今後とも、本校の教育活動にご理解とご協力をいただきますことをお願い申し上げます。次なる200周年に向けて力強く歩んでいきたいと思っております。

本年度も児童の登下校に係る、安心安全の見守り活動にご尽力いただき、ありがとうございます。

今年度をもって退会される隊員の皆様方には、大変お世話になり、ありがとうございました。継続して活動していただける皆様、新規で登録していただいた皆様、令和8年度もよろしくお願いいたします。



※ みまもり隊の新規隊員を随時募集しています。ご協力いただける方は、左記までご連絡をお願いします。

山崎小学校 教頭まで
tel 62-1131

行事予定

3月

- 19日(木) 給食最終日
- 20日(金) 春分の日
- 24日(火) 卒業証書授与式
- 25日(水) 修了式
- 26日(木) 春季休業(～6日)
PTA会計監査



4月

- 6日(月) 離任式・入学式準備
- 7日(火) 着任式・入学式・始業式
- 8日(水) 自治別児童会・登校路踏査
- 9日(木) 発育測定(高)
- 10日(金) 発育測定(中)
PTA本部理事会
- 13日(月) 給食開始・発育測定(低)
みまもり隊出会いの式
- 15日(水) 縦割り班出会いの式
- 17日(金) 避難訓練 委員会活動
PTA本部理事会・役員総会・各部会
- 20日(月) 交通安全教室
- 23日(木) 全国学力学習状況調査
- 24日(金) 授業参観・学級懇談
PTA総会(午後)
- 27日(月) 家庭訪問①
- 28日(火) 家庭訪問②
- 29日(水) 昭和の日
- 30日(木) 家庭訪問③